



明日の青梅のために！！

青梅市議会議員

島崎 実

No10

活動報告

平成29年10月27日発行

島崎 実 事務所
〒198-0063
青梅市梅郷6-1511
TEL 0428-76-0358
E-Mail info@minoru-kai.com

柚木町2丁目の沢を覆う木々を除去しました。

以前の情況



きれいになりました



梅郷1丁目の停止線一時停止を促します。



柚木町2丁目、草思堂通りに交差する坂道に停止線を引きました。

以前の情況



危険防止の停止線です



7月11日～13日、函館市を訪れ、地方議員研究会のセミナーに参加しました。セミナーのテーマは教育委員会制度と自治体病院の経営についてです。



9月2日～3日、長野県飯田市の天龍峡踊りに柚木小唄愛好会の皆さんと参加しました。柚木小唄は、80年前天龍小唄を元唄として作詞したものです。



9月17日、梅郷6丁目の獅子舞の一コマです。私は舞い方です。雨の中、各戸をくまなく回り、地域の安全と家内安全を祈願しました。

9月27日、植栽された梅苗木の仕立て方の講習会が開催され、関係者を含め30人程の方が参加されました。



◎「9月議会報告」 9月議会は1日・2日・3日の一般質問、7日・8日の常任委員会、12日に補正予算・全員協議会。15日、19日～21日の28年度決算審査を経て29日の本会議で決算を承認し終了しました。この間、総合病院建設特別委員会等、特別委員会および、常任委員会の所管事務調査を実施しました。

(全員協議会に於ける市長提出事項)

- (1) ポップルト市の青少年友好親善使節団の受け入れについて…10月6日～15日、10名の団員が来られます。
- (2) 市民と市長との懇談会について…10月25日～11月7日、市内6か所の会場で実施されます。
- (3) 市長の海外出張について…9月22日～28日、フランスを訪れ、東京オリンピックのカヌーキャンプ誘致を実施。
- (4) 青梅オクトーバーフェストについて…10月8・9日に市役所駐車場を会場に、ドイツビールの提供等を通じ、ドイツの食と文化を幅広く紹介するとともに、交流の機会を創出し、ドイツへの理解を促進します。
- (5) 西多摩地域広域行政圏協議会によるホストタウン申請について…米国を相手国として申請し、継続審査です。
- (6) 平成30年度組織改正について
- (7) 運動広場のあり方について…利用状況や近隣の体育施設の設置状況を踏まえて整理を行い、新たに運動広場を設置する場合の基準を追加。新たに設置する場合、500m以内に運動施設がないことが条件となります。
- (8) (ウメ輪紋ウイルス)平成29年度感染状況調査結果および平成30年度強化対策地区拡大申請予定について…すでに再植栽が認められた強化対策地区1(梅郷・和田)に加え、強化対策地区2(畑中1・2丁目の一部等)の地域においても、再植栽が可能となるよう(強化地区2の外側に)新たに強化地区3を設定します。
- (9) (青梅市立総合病院) 地域医療支援病院承認後の選定療養費徴収開始について…この承認で総合病院は診療所では対応困難な専門的な治療や高度な検査・手術を行う、地域完結型医療の中核病院となります。この結果、9月1日より紹介状の無い初診患者からは、5400円(税込)の選定療養費を徴収する事となりました。
- (10) ボートレース多摩川外向発売所の開設について…開設日10月6日、収容人員は1000名を見込みます。

「平成28年度 青梅市決算の概要」について、概要は下記のとおりです

<p>1、一般会計</p> <p>(1) 歳入 国庫支出金や都支出金などが前年度比増となりましたが、地方交付税交付金などが減り、前年比0.9%減の499億円。市税は前年比135百万円減の200億円。一部企業の減収による法人市民税の大幅減が大きく影響しました。</p> <p>(2) 歳出 民生費が2.5%増の246億円となり、歳出全体の半分以上、50.1%を占めます。主要な増加要因は年金生活者等支援臨時福祉給付金支給事業経費等。総務費、衛生費、教育費と続きます。</p> <p>2、繰出金決算状況 一般会計から財政が厳しい特別会計・企業会計へ繰り出しを行っていますが、28年度は前年比2億円余減の、63億56百万円余を国保会計・下水道会計、介護保険会計等へ繰り出しました。また、モーターボート会計から1億1千万円を一般会計に繰り出しました。</p> <p>3、市債現在高および基金の状況 市債(借入金)の28年度末残高は前年度比19億円余減の595億2百万円。一方基金の積立額は前年度比62百万円増の66億79百万円です。</p> <p>4、財政指標等 財政力指数・経常収支比率等自治体の財政力を示す指数がともに悪化しており、厳しい財政状況が続いています。</p>	「第1表 各会計決算収支」 (単位、百万円)			
		歳入決算額	歳出決算額	形式収支
	一般会計	49,994	49,127	866
	特別会計			
	国民健保会計	17,551	17,442	109
	下水道事業会計	4,412	4,407	5
	後期高齢者会計	2,751	2,749	2
	介護保険会計	8,361	8,262	98
	合計	83,071	81,989	1,082
	モーターボート会計	36,154	34,107	
	※歳入の内、収益事業財政運営基金の取り崩し額1,980百万円			
	病院事業会計			
	(収益的収支)	15,853	15,666	-
	(資本的収支)	265	1,311	-
	※資本的収支の不足額は損益勘定留保金等で補てん			
「第2表 市税の内訳」 (単位、百万円)				
	平成28年度	平成27年度	前年比	
個人市民税	7,685	7,609	75	
法人市民税	1,121	1,430	△308	
固定資産税	8,376	8,256	119	
都市計画税	1,519	1,507	11	
その他	1,385	1,419	△34	
合計	20,086	20,221	△135	

「一般質問」

◎今議会の一般質問では

①青梅市における教育行政の現状と課題について、②青梅市における平和事業の2問を質疑する予定でしたが、「教育行政の現状と課題」については、所属する福祉文教委員会の所管事務調査と重なる部分があることから、質問を取り下げました。質問では特に教育委員会制度に重点を置いて質問する予定でした。この課題は、今後委員会で質疑していきます。なお、「教育行政の現状と課題」の質問原稿はホームページ <http://www.minoru-kai.com> に掲載してありますので、ご覧いただけると幸いです。

私の質問(一部)

市長答弁

「青梅市における平和事業について」

(1) 青梅市は様々な平和事業を実施して来たが今年度、世界連邦運動協会青梅支部と連携し、どのような平和事業を実施していくのか？	(1) 小学生平和ポスターコンクールへの協力や、市との共催事業として、平和写真展や平和の集いを実施するなど、連携を図りながら平和活動を展開致します。
(2) (中学生を原爆の地広島に送る)青梅・羽村ピースメッセンジャー事業の実現までの経緯と本年度の実施概要および報告会の内容について伺う。	(2) 平成27年度の戦後70年平和事業として、羽村市と共同実施。今年度も青梅市から13名の中学生を派遣し、羽村「ゆとろぎ」の報告会には保護者、校長をはじめ152の方が参加しました。
(3) 市役所ロビーで実施した原爆展及び平和アニメ上映会の実施経緯と今後の実施方針を伺う。	(3) 原爆展は平成21年度から、平和アニメ上映会は平成24年度から開催している。今後も継続していく方針である。
(4) 北朝鮮の核実験に対して、過去竹内市長・浜中市長名で抗議文を発信している。今後、万一北朝鮮が核実験に及べば、更に強い抗議の意思を発信すべきと考えるが市長の見解を伺う。	(4) 市は核兵器や戦争のない平和な世界となるよう祈願し、平成17年に非核平和都市宣言を行ったことから、過去、北朝鮮の核実験に対し抗議文を発信して来た。今後も必要に応じて、適切に対応してまいります。
(5) 平和事業として実施している戦没者追悼式の今年度実施計画を伺います。また、各地区で実施されている追悼式・慰霊祭の実施状況と、市の関わりについて伺います。加えて若い人の参加対策についてお聞きします。	(5) 今年度は市民会館が使えない。遺族会と協議を重ね、市役所会議室で実施します。7つある遺族会が実施する慰霊祭に市の幹部が必ず参加し、支部の運営費補助を行っています。若い人が参加できる方法を検討し、周知に努めます。